

MLT耐力壁の面内せん断試験結果について

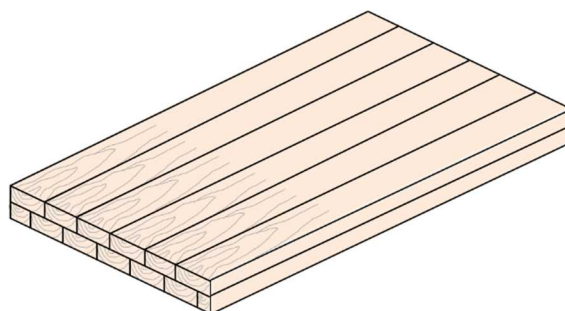
宮崎県木材利用技術センター

当センターでは、本県独自開発の2層構成の平行積層集成板（MLT：Miyazaki Laminated Timber）を用いた耐力壁に関する研究に取り組んできました。ついては、当該耐力壁を様々な建築物において活用いただきたく、研究過程で実施した面内せん断試験の結果を公表します。

1 MLTとは

宮崎県産スギのひき板（ラミナ）の繊維方向を互いに平行に並べて側面同士を接着し、その接着位置をずらして2層に重ねて接着した面材です。

MLT耐力壁は、そんなMLTを用いた在来軸組工法による真壁形式の耐力壁です。木の風合いを生かし、そのまま内装材としても使うことができます。



2 MLT耐力壁の仕様

仕様として3種類を設定しています。各仕様の試験結果は別紙のとおりです。

	仕様	壁倍率※	特徴
1	標準型	4.0 (5.3)	一連の仕様のうち、最も高耐力となる標準的な仕様です
2	出隅対応型	3.6 (4.8)	ホールダウン金物をスパン内に設置でき、出隅部などでも使用可能な仕様です
3	開口部設置型	1.9 (2.6)	開口部（窓）が設置できる仕様です

※壁倍率は $\alpha=0.75$ として算出したもので参考値。カッコ内は低減前の壁倍率を示す。

3 その他

御使用の際は、使用条件や注意事項を示した「MLT耐力壁標準仕様書」を必ず御確認いただき、記載事項を遵守してください。

（問い合わせ先）

宮崎県木材利用技術センター 構法開発部

電話 0986-46-6044 FAX 0986-46-6047